

千歳市の農業は、2020年農林業センサスによると、令和2年2月における農家の総数は214戸、そのうち販売農家は173戸、自給的農家は41戸となっています。

千歳市では、農業基盤整備をもとに大規模経営と近代化が進んでおり、令和4年における作付面積の大きな作物としては、小麦（1,500ha）、大豆（639ha）、てん菜（670ha）と、畑作中心の農業が展開されています（全作付面積5,860ha うち田634ha、畑5,220ha）。

また、全国と同様、農業者の高齢化、後継者不足などが課題となっていることから、市では農業経営のさらなる強化を進めるため、令和3年度にスタートした千歳市農業振興計画（第4次）に基づき、各種施策を展開しています。

林業では、令和3年度における市の森林面積は31,833haで、林野率は54%、そのうち82%が市内西部の国立公園支笏湖地域から市街地へと続く国有林野となっています。民有林は、主に市内東部に点在し、森林面積は3,860haで、占有率は12%、人工林率は国有林、民有林とも25%前後となっています。

水産業では、国立研究開発法人水産研究・教育機構水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所が、明治21年から続くサケ・マス増殖のため、千歳川でサケやサクラマスのふ化・放流事業を実施するなど、北海道日本海地域におけるサケ・マス増殖事業の中心的な役割を担っており、令和4年度には、約59万尾のサケが捕獲され、3,000万尾の稚魚が今春放流されました。

支笏湖では、ヒメマスの資源保護と増殖のために、明治以来100年以上にわたり、ふ化事業が実施されています。平成10年からは、水産庁から市に施設及び事業が引き継がれた千歳市支笏湖ヒメマスふ化場（平成26年12月改築）において、親魚の採捕、採卵、ふ化・放流など、ヒメマス保護事業を実施しています。また、平成20年3月には、支笏湖漁業協同組合が漁業権を取得し、ヒメマスを次の世代に継承するため増殖事業を行っているほか、平成30年には、支笏湖産ヒメマスの名称を「支笏湖チップ」に統一し、ブランド化に取り組んでいます。

27 農家

(単位 戸)

年	総 数	販売農家数	自給的農家数
22	231	211	20
27	223	181	42
2	214	173	41

- 1 各年2月1日調査
- 2 「農家」とは、経営耕地面積が10a以上の農業を営む世帯または農産物販売金額が年間15万円以上ある世帯をいう
- 3 「販売農家」とは、経営耕地面積が30a以上または農産物販売金額が年間50万円以上の農家をいう
- 4 「自給的農家」とは、経営耕地面積が30a未満かつ農産物販売金額が年間50万円未満の農家をいう
農林水産省「農林業センサス」(農業振興課)



28 農業経営体

(1) 総農経営体の推移

(単位 経営体)

年	総数	法人化している							地方公共 団 体	法人化していない	
		小 計	農 事 組合法人	会 社		農 協	その他の 各種団体	その他の 法 人			個人経営体
				株式会社	その他会社						
22	230	23	3	19	—	1	…	…	1	206	203
27	216	42	5	35	—	—	1	1	—	174	173
2	204	41	3	34	2	—	—	2	—	163	163

1 各年2月1日調査

農林水産省「農林業センサス」(農業振興課)

(2) 個人経営体の種類

(単位 経営体)

年	主業経営体	準主業経営体	副業的経営体
2	111	3	49

1 各年2月1日調査

2 「農業経営体」とは、農産物の生産を行うかまたは委託を受けて農作業を行い、経営面積が30a以上あることなど、提示されている基準のいずれかに該当する者をいう

3 「主業経営体」とは、農業取得が主(農家所得の50%以上が農業所得)で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる経営体をいう

4 「準主業経営体」とは、農外取得が主(農家所得の50%未満が農業所得)で、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいる経営体をいう

5 「副業的経営体」とは、1年間に60日以上自営農業に従事している65歳未満の世帯員がいない経営体をいう

農林水産省「農林業センサス」(農業振興課)

29 家畜飼養農家

(単位 頭、百羽)

年	乳用牛		肉用牛		豚		採卵鶏	
	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数	農家数	頭数
22	53	4,284	10	592	3	344	1	X
27	47	4,503	12	X	6	9,246	5	16,905
2	37	3,964	8	X	4	11,686	4	14,287

1 各年2月1日調査
農林水産省「農林業センサス」(農業振興課)

30 認定農業者

(単位 戸)

年	総数	個人	法人
元	160	118	42
2	151	111	40
3	154	114	40

1 「認定農業者」とは、市町村の農業経営基盤強化促進基本構想に示された農業経営の目標に向けて、自らの創意工夫に基づき、経営の改善を進めようとする計画の認定を受けた農業者をいう
農業振興課



ハスカップの実

美しい青紫色の実に独特の甘酸っぱい風味で、千歳のシンボルになっているハスカップ。最近では一村一品としてジャム、ゼリー、ワインなど約30種の加工品が作られ全国的にも有名です。今では栽培する農家も増えてきましたが、最初の一粒はシベリアから海を越えて渡り鳥が運んできたといわれています。

31 耕地面積

(単位 ha)

年	計	田 耕 地	畑 耕 地
元	5,868	638	5,230
2	5,867	637	5,230
3	5,860	637	5,230

農林水産省「農林水産統計」(農業振興課)

33 農地転用の推移

(単位 ha)

年度	総 数		住 宅 用 地		工 場 用 地		そ の 他	
	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積	件 数	面 積
30	11	1.8	11	1.8	—	—	—	—
元	12	1.7	12	1.7	—	—	—	—
2	14	5.8	14	5.8	—	—	—	—
3	9	1.1	9	1.1	—	—	—	—
4	11	5.6	9	5.3	—	—	2	0.3

1 住宅用地とは一般住宅、農家住宅、倉庫、車庫及び農業用施設を含む

2 火山礫採取等一時転用は含まない

農業委員会事務局

34 家畜の監視伝染病発生状況

年度	区分	牛					豚		馬		高病原性 鳥インフル エンザ
		ヨーネ病	ブルセラ症 結核	牛海綿状 脳症	牛伝染性 リンパ腫	サルモネ ラ症	サルモネ ラ症	豚丹毒	破傷風	馬鼻肺炎	
2	検査頭数	1,618	0	37	—	—	—	—	—	—	10
	発生頭数	0	0	0	0	9	0	0	0	0	0
3	検査頭数	17	14	34	—	—	—	—	—	—	0
	発生頭数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
4	検査頭数	0	0	39	—	—	—	—	—	—	0
	発生頭数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	539,248

1 発生頭数：疑似患畜を含む

検査頭数：北海道家畜保健衛生所「家畜伝染病予防事業実施成績」（農業振興課）

発生頭数：北海道農政部「北海道内における監視伝染病の発生状況」（農業振興課）

35 主要農産物生産量

農産物	作付面積 (ha)	生産量 (t)
水 稲	101	522
小 麦	1,500	6,460
大 豆	639	1,710
馬 鈴 薯	143	2,030
て ん 菜	670	38,700

1 馬鈴薯は令和3年、それ以外は令和4年の値
農業振興課

37 市営牧場

(1) 施設概要

施設名	所在地	面積 (ha)
市営牧場	駒里1032番地の1外	220
育成畜舎	駒里1032番地の1	

牧場放牧地	131ha	放牧期間	5月15日～10月15日
その他	89ha	舎飼期間	10月16日～5月14日
計	220ha		

農業振興課

(2) 利用状況の推移

(単位 頭)

年度	放牧		舎飼		計
	牛		牛		
	実頭数	延頭数	実頭数	延頭数	延頭数
29	331	53,622	291	50,466	104,088
30	246	54,266	291	51,984	106,250
元	283	60,174	329	59,043	119,217
2	442	60,991	298	47,438	108,429
3	385	54,898	266	44,697	99,595
4	420	60,355	291	49,308	109,663

農業振興課

38 農業基盤整備事業

(1) 国営土地改良事業

完了事業（S50年以降完了）

事業名	地区名	受益	
		面積 (ha)	戸数
かんがい排水事業（施設改修）	長 都	1,512 （うち千歳市 527）	225 （うち千歳市 52）
直轄明渠排水事業	千 歳	450	67
総合かんがい排水事業	ネ シ コ シ	2,878	312
農用地等緊急保全整備事業	石狩川下流左岸	14,470 （うち千歳市 550）	2,185 （うち千歳市 78）
かんがい排水事業	道 央	28,823 （うち千歳市 608）	3,417 （うち千歳市 113）
	道 央 用 水 （一 期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）
	道 央 用 水 （二 期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）
	道 央 用 水 （三 期）	29,010 （うち千歳市 608）	3,363 （うち千歳市 113）

1 「ℓ」は延長、「φ」は直径、「Q」は計画排水量、「A」は面積を表す
農村整備課

全 体		施工年度	備 考			
事業費 (千円)	事 業 量					
310,000	第15号幹線排水路鋼夾板 右岸 $l=618.63\text{m}$ 左岸 $l=732.63\text{m}$ 計 $l=1,351.26\text{m}$	S 53	千歳市	長沼町		
1,349,000	排水機場 $\phi=1,000\text{mm}$ 2台 $\phi=600\text{mm}$ 2台 $Q=6.5\text{m}^3/\text{S}$ 排水路 2条 $l=3.5\text{km}$	S 59~H2	千歳市			
特別 (6,285,000) 一般 (5,482,000) 計 11,767,000	大学排水機場 $\phi=2,000\text{mm}$ 2台 " $\phi=1,350\text{mm}$ 2台 " $Q=27.0\text{m}^3/\text{S}$ 中央長都排水機場除塵機及び改修 $\phi=900\text{mm}$ 3台 $\phi=500\text{mm}$ 1台 $Q=5.25\text{m}^3/\text{S}$ 排水路12条 $l=29.6\text{km}$ 道 路 8条 $l=12.6\text{km}$ 農地造成 230ha 防風林 $l=3.28\text{km}$ $A=9.8\text{ha}$	S 61~H6	千歳市	長沼町		
長都第2工区 8,469,636	漁太排水機場 $\phi=1,500\text{mm}$ 3台 $Q=13\text{m}^3/\text{S}$ 漁太第1集水路 $l=5.6\text{km}$ 漁太第2集水路 $l=3.1\text{km}$ 南18号排水機場 $\phi=1,350\text{mm}$ 2台 $Q=8.5\text{m}^3/\text{S}$	S 63~H7	千歳市 栗沢町	江別市 南幌町	恵庭市 長沼町	岩見沢市 北村
80,600,000	排水機場 2か所 揚水機場 7か所 用水路16条 $l=112.5\text{km}$ 排水路24条 $l=80.9\text{km}$	S 55~H16	千歳市 夕張市 長沼町	江別市 栗山町 南幌町	恵庭市 栗沢町	北広島市 由仁町
23,051,000	夕張シュパロダム新設 クオーベツダム改修	H7~H16	千歳市 夕張市 長沼町	江別市 栗山町 南幌町	恵庭市 栗沢町 早来町	北広島市 由仁町 追分町
57,316,827	夕張シュパロダム新設	H14~H26	千歳市 夕張市 長沼町	江別市 栗山町 南幌町	恵庭市 岩見沢市 安平町	北広島市 由仁町
69,290,000	頭首工 4か所 揚水機場 6か所 用水路6条 $l=10.2\text{km}$	H16~H30	千歳市 夕張市 長沼町	江別市 栗山町 南幌町	恵庭市 岩見沢市 安平町	北広島市 由仁町

(2) 道営土地改良事業

ア 完了事業（S50年以降完了）

事業名	地区名	受益		全
		面積 (ha)	戸数	事業費 (千円)
圃場整備	上山口	420 (うち千歳市 227)	127 (うち千歳市 47)	1,675,940
一般農道整備 (基幹舗装)	第2中央	754	71	109,400
排水対策特別	中長都	616 (うち千歳市 400)	129 (うち千歳市 71)	1,029,480
一般農道整備 (基幹舗装)	第2東千歳	805	57	392,460
一般農道整備 (基幹舗装)	第2中央2期	574	71	103,920
圃場整備	釜加	227	67	1,932,788
農免農道整備	根志越	370	60	422,070
圃場整備事業	泉郷	198	42	1,830,540
土地改良総合整備事業	中長都	203	31	346,000
開拓地整備事業	南長都	99	12	146,000
農免農道整備事業	東丘北部	483	29	685,580 (2期分含む)
畑地帯総合土地改良事業	都	342	48	1,533,600
畑地帯総合土地改良事業	長都	196	36	1,620,793
畑地帯総合土地改良事業	東丘	1,151	57	4,476,720
畑地帯総合土地改良事業	新幌	1,193	89	6,866,080
土地改良総合整備事業	釜加	92.6	23	154,500
畑地帯総合整備事業	ネシコシ	198	19	253,814
経営体育成基盤整備事業	泉郷	50	7	49,685
水田振興緊急整備事業	中長都第2	51.3	18	91,964
畑地帯総合整備事業	中央	307.7	43	38,500
基幹水利施設補修事業	南21号 (うち千歳市 391.7)	605 (うち千歳市 391.7)	122 (うち千歳市 69)	213,063
畑地帯総合整備事業	新川	28.8	12	52,511
かんがい排水事業 (基幹水利施設保全型)	新幌	934.6	60	112,020

1「ℓ」は延長、「φ」は直径、「Q」は計画排水量、「A」は面積を表す

事業量		体	施工年度	備考
道路(路盤改良) $l=8,996\text{m}$ 排水路 $l=4,519\text{m}$ 暗渠 $A=420\text{ha}$	道路(舗装) $l=545\text{m}$ 区画整理 $A=420\text{ha}$		S 46～S 56	千歳市 恵庭市
道路(舗装) $l=2,993\text{m}$			S 52～S 56	千歳市
排水機場(南21号) (移設) $l=3,547\text{m}$	$\phi=1,100\text{mm}$ 2台 $Q=5.0\text{m}^3/\text{S}$ $\phi=600\text{mm}$ 1台 $Q=0.75\text{m}^3/\text{S}$		S 54～S 59	千歳市 恵庭市
排水路 $l=3,547\text{m}$				
道路(舗装) $l=5,559\text{m}$			S 54～S 59	千歳市
道路(舗装) $l=2,152\text{m}$			S 57～S 60	千歳市 長沼町
区画整理 $A=226.9\text{ha}$ 農道(防塵) $l=2,750\text{m}$	暗渠 $A=226.9\text{ha}$ 排水路 $l=650\text{m}$		S 49～S 63	千歳市
道路(舗装) $l=3,643\text{m}$	橋梁 1か所		S 60～S 63	千歳市
区画整理 $A=198.4\text{ha}$	暗渠 $A=197.8\text{ha}$		S 52～H 2	千歳市
農道 $l=2,782\text{m}$	明渠 $l=539\text{m}$ 暗渠 $A=36.4\text{ha}$		H 元～H 4	千歳市
道路(改良) $l=1,503\text{m}$	(舗装) $l=1,503\text{m}$		H 2～H 5	千歳市
農道(舗装) $l=5,444\text{m}$	(改良) $l=5,444\text{m}$		S 63～H 7	千歳市 由仁町
農道(舗装) $l=5,916\text{m}$ 明渠 $l=3,525\text{m}$	(改良) $l=5,916\text{m}$ 暗渠 $A=51.6\text{ha}$ 改良転客土 $A=46.6\text{ha}$		S 61～H 8	千歳市
農道(舗装) $l=3,581\text{m}$ 明渠 $l=1,021\text{m}$	(改良) $l=3,589\text{m}$ 暗渠 $A=33.1\text{ha}$ 排水機場 2か所		S 63～H 9	千歳市
農道(舗装) $l=12,171\text{m}$ 明渠 $l=13,202\text{m}$ 農地造成 $A=44.6\text{ha}$	(改良) $l=14,005\text{m}$ 暗渠 $A=117.8\text{ha}$ 区画 $A=200.5\text{ha}$ 営農用水 $l=27,097\text{m}$ 客土 $A=66.2\text{ha}$		S 55～H 10	千歳市
農道(舗装) $l=16,559\text{m}$ 明渠 $l=16,061\text{m}$ 営農用水 $l=31,425\text{m}$	(改良) $l=16,559\text{m}$ 暗渠 $A=244.7\text{ha}$ 区画 $A=320.4\text{ha}$		S 56～H 10	千歳市
明渠 $l=236\text{m}$	暗渠 $A=91.6\text{ha}$		H 11～H 14	千歳市
暗渠 $A=197.8\text{ha}$	心土破碎 $A=158.1\text{ha}$		H 14～H 17	千歳市
明渠 $l=80\text{m}$	暗渠 $A=31.7\text{ha}$		H 15～H 17	千歳市
明渠 $l=543\text{m}$	暗渠 $A=47.7\text{ha}$		H 16～H 18	千歳市
明渠 $l=1,262\text{m}$	暗渠 $A=223.9\text{ha}$		H 16～H 19	千歳市
南21号排水機場の施設整備補修			H 17～H 19	千歳市 恵庭市
暗渠 $A=26.8\text{ha}$	客土 $A=3.2\text{ha}$		H 20～H 22	千歳市
排水路補強・補修 $l=1,371\text{m}$			H 23～H 27	千歳市

イ 継続地区

事業名	地区名	受益		全体	
		面積 (ha)		事業内容	
多面的機能 支払事業 (事業開始年度 H26)	釜加・中長都				
	泉郷	4,209.98		農業用排水路や農道などの施設を維持保全する活動や、農村の景観形成など地域共同活動に対する支援	
	幌加川	田 501.53			
	新協和	畑 3,214.40			
	東丘	草地 497.35			
駒里					
	中央				

農村整備課

(3) 補助事業

完了地区

事業名	地区名	受益		全体	
		面積 (ha)	戸数	事業費 (千円)	事業量
ふるさと農道緊急整備事業 (施工年度 H6～H8)	幌加・新川			48,885	農道(舗装) ℓ = 332.8m (改良) ℓ = 332.8m
農業水利施設台帳整備事業 (施工年度 H7～H9)	千歳			20,640	排水機場、排水路等の農業水利施設台帳の整備
畜産環境整備特別対策事業	千歳	2,209.01	58	2,812,274	草地整備 A = 181.91ha 暗渠 A = 92.4ha 施設整備 1式 周辺環境整備 1式

1 「ℓ」は延長、「A」は面積を表す
農村整備課

令和4年度までの実績 事業費(千円)	令和5年度の予定 事業費(千円)
526,147	65,144

39 森林面積と蓄積量

所有区分	林野率 (%)	面積 (ha)					蓄積 (千m)		
		計	天然林	人工林	無立木地	その他	計	針葉樹	広葉樹
国有林	44.2	26,275	18,210	6,827	2	1,236	3,743	1,435	2,308
その他有林	2.9	1,698	1,654	44	—	—	116	17	99
市有林	0.5	324	253	70	1	—	44	19	25
その他民有林	6.0	3,536	2,534	785	217	—	402	168	234
計	53.6	31,833	22,651	7,726	220	1,236	4,306	1,639	2,667

1 令和4年4月1日現在

2 林野率とは市総面積59,450haに対する占有率

北海道水産林務部総務課「北海道林業統計」(農村整備課)



40 国立研究開発法人水産研究・教育機構 水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所

(1) 施設概要

所在地 蘭越9番地

第1・第2事業棟（サケ）

ふ化室	ボックス式ふ化器	84台	3,400万粒
養魚池		2,486㎡	3,100万尾
飼育池		3,200㎡	3,000万尾

第3事業棟（サクラマス）

飼育池	120㎡	10万尾
-----	------	------

水産研究・教育機構 水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所

人工ふ化放流を行っているサケ・マス類

▼サケ
chum salmon



体長55～85cm、体重1.5～7.5kg。韓国から北米のカリフォルニアまで、北太平洋の広範囲に分布。主にベーリング海およびアラスカ湾で2～5年間索餌回遊した後、9～12月に北日本の沿岸へ来遊し、生まれた河川へそ上して産卵する。翌年の3～5月に体長5cm程度に成長した稚魚は降海し、北太平洋で索餌回遊する。

北日本の主要な漁業対象種であり、各地で人工ふ化放流が行われている。一般にアキサケ、アキアジと呼ばれ、他のさけ・ます類と区別するためにシロザケとも呼ばれる。

▼サクラマス
masu salmon



体長40～65cm、体重0.8～3.5kg。北太平洋西部の日本海からオホーツク海及び北日本東部沿岸の狭い範囲に分布。北日本周辺からオホーツク海で1年間索餌回遊した後、4～6月に生まれた河川へそ上し、河川で越冬した後、9～10月に産卵する。稚魚は1～2年河川で生活し、4～6月に体長13cm程度に成長してから降海し、夏季にオホーツク海、その後は北太平洋で索餌回遊する。

同じ親から生まれた稚魚のうち、雄の一部に一生を淡水で過ごす河川残留型が出現し、ヤマメ（ヤマベ）と呼ばれる。一般に本マス、ママスと呼ばれ、富山の鱒鮭の原料として有名。

▼ベニザケ（ヒメマス）
sockeye salmon



体長40～60cm、体重0.8～3.0kg。千島列島・カムチャツカ半島から北米のオレゴンまで、北太平洋の広範囲に分布。北太平洋で1～3年間索餌回遊した後、6～9月に生まれた河川・湖沼へそ上し、上流域の河川で10～11月に産卵する。稚魚は1～2年湖沼で生活し、5～6月に体長13cm程度に成長してから降海し、北太平洋で索餌回遊する。

日本では湖沼型（ヒメマス）が北海道東部の阿寒湖とチミケップ湖に自然分布していたが、現在では支笏湖などの高地の湖沼に移殖されている。湖沼型から降海型のベニザケを育てる技術開発に成功し、安平川など北海道の3河川で人工ふ化放流が行われている。

水産研究・教育機構 水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所

(2) サケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕 獲 数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
30	尾 65,949	尾 73,261	尾 139,210	千粒 92,660	千粒 34,000	千尾 30,735	千尾 30,353
元	115,235	143,710	258,945	85,773	34,600	32,019	31,635
2	159,861	178,221	338,082	85,682	34,000	31,363	30,659
3	148,659	179,093	327,752	103,552	33,800	31,451	30,289
4	273,141	314,334	587,475	76,464	33,700	30,304	30,000

1 令和4年度は確定値（放流数は生まれ年）
水産研究・教育機構 水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所

(3) サクラマス河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕 獲 数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
30	尾 832	尾 550	尾 1,382	千粒 130	千粒 130	千尾 121	千尾 118
元	389	294	683	131	130	108	100
2	347	291	638	130	130	109	95
3	468	439	907	130	130	108	102
4	416	387	803	130	130	116	111

1 令和4年度は概数値（放流数は生まれ年）
水産研究・教育機構 水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所

(4) ベニザケ河川捕獲、採卵およびふ化放流の状況

年度	捕 獲 数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
30	尾 374	尾 394	尾 768	千粒 191	千粒 191	千尾 113	千尾 100
元	1,312	880	2,192	210	210	141	136
2	585	701	1,286	200	200	132	100
3	377	254	631	200	200	126	100
4	405	269	674	200	200	123	120

1 採卵したベニザケ卵は移殖された静内さけます事業所でふ化飼育等を実施
2 令和4年度は概数値（放流数は生まれ年）
水産研究・教育機構 水産資源研究所さけます部門千歳さけます事業所

41 泉沢養魚場

施設概要

所在地 泉沢1009番地の19

開 場 昭和57年4月（養魚場休止 平成19年3月）

魚 種 ヒメマス

施設等

最大取水量 7,646 m^3 /日 (5.31 m^3 /分)

建 物

ア 管理棟及びふ化室 210.60 m^2

イ 稚魚池上屋 141.48 m^2

ウ ポンプ室 18.90 m^2

施 設

ア 養魚池 14面 580 m^2

（ア）稚魚池 6面 60 m^2

（イ）養魚池 4面 120 m^2

（ウ）飼育池 4面 400 m^2

イ 導水路その他 一 式

ふ化能力 1,200千粒

現 状

平成23年3月から施設等は、日本海さけ・ます増殖事業協会がサケの2次飼育施設として活用している。

観光課

42 支笏湖ヒメマスふ化場

(1) 施設概要

所在地 支笏湖温泉番外地
 開 場 平成10年8月11日（水産庁から譲渡）
 平成26年12月25日（事務所及びふ化室建替）

施設等

最大取水量 717m³/日
 建 物
 ア 事務所及びふ化室等 405.01m²
 イ 倉庫（旧支笏湖ヒメマスふ化場事務所） 140.24m²
 施 設
 ア 養魚池 長さ18m 幅1.5m 3列
 イ 導水路その他 一式

観光課

(2) ヒメマス親魚捕獲・ふ化の推移

年度	捕 獲 数			採卵数	収容卵数	ふ化尾数	放流尾数
	雌	雄	計				
30	4,520	5,126	9,646	647	221	220	185
元	4,875	7,026	11,901	828	221	220	185
2	963	1,285	2,248	510	221	220	185
3	453	223	676	223	223	210	185
4	464	579	1,043	232	232	196	185

観光課

市の花 ハナショウブ

昭和61(1986)年4月1日制定

(アヤメ科の多年草)

新緑を背景に、水辺に紫・白・紫
紅色などの花が咲き乱れる風情は日
本的情緒にあふれています。

市内でも、ママチ川、勇舞川の河
畔などで美しい花が見られます。

